

事業名	小中一貫教育推進事業			ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略			
				総合戦略 政策パッケージ	4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる					
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳				R1予算	
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
9,676 千円	9,693 千円	13,671 千円	13,677,000	13,407,198					13,407,198	11,869 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H28. 3:宮津市教育振興計画策定 ・H28. 7:宮津市小中一貫教育研究推進協議会設置 ・H29. 1:宮津市小中一貫教育基本方針策定 ・H29. 12:宮津市小中一貫教育推進基本計画策定 ・H30. 2:宮津市学力向上プラン策定 			事業実績	<p>令和2年度の全面実施に向け、乗り入れ授業等の教科カリキュラムでの指導等を実践するとともに、学力サポートコーディネーターを新たに配置し、算数・数学の学力向上を図った。</p> <p>■小中一貫教育推進事業 13,407,198円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宮津市小中一貫教育研究推進協議会の開催(進捗状況の確認等) 委員:13名(保護者代表、就学前施設・小中学校長代表、学識経験者で構成) ○宮津市教育フォーラムの開催(小中一貫教育の取組状況等の市民への周知) 日時:平成31年2月2日(土)午後1時30分~4時 場所:みやづ歴史の館 文化ホール 参加者:約200人 内容:実践報告「小中一貫教育の取組について」 パネルディスカッション「宮津市の英語教育について」 ○学力サポートコーディネーター(指導主事)の配置(1名) 市内6小学校への訪問指導 (児童への指導補助、校長・教員への授業改善に向けた指導など) ○小中一貫教育専任職員の配置(1名) 					
目的 目標	宮津市教育振興計画における基本方針「明日の宮津を創る子どもの育成」に位置付ける“質の高い学力の充実・向上”“心身ともに健やかな子どもの育成”を目指す。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・栗田学院での令和元年度からの本格実施に向けた試行実施、宮津学院での研究実践、4つの小学校での連携学習を進めることができた。 ・新たに学力サポートコーディネーターを配置したことで、教員の授業力向上等を図ることができた。 (学力向上プランに基づき、教育振興事業において、漢字能力検定を活用した語彙力向上や英語検定を活用した表現力向上に係る取組にも着手できた。) 					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・系統性を重視した教育課程の編成による学力向上 ・学習意欲の向上、学習習慣の定着 ・「小1プロブレム」「中1ギャップ」等の解決 ・教員の授業力の向上 			課題 検証	小中一貫教育の推進と合わせて、学力向上プランに基づく取組を着実に進めていく必要がある。					
市民参加の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津市小中一貫教育研究推進協議会委員に保護者の参画 ・宮津市教育フォーラムへの市民・保護者の参加 			担当部・課・係	教育委員会事務局	学校教育課	学校教育係	TEL	45-1641	20

事業名		学校給食運営事業		ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成		ビジョン 重点戦略	定住促進戦略		
				総合戦略 政策パッケージ	4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる					
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
— 千円	79,487 千円	213,000 千円	213,031,000	207,457,389		8,200,000	47,400,000	129,057,704	22,799,685	208,801 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H28.7~8: 学校給食あり方懇談会開催 ・H28.10: 中学校給食の実施等に係る市方針決定 ・H28.12: 優先交渉権者を選定 ・H29.2: 宮津市学校給食業務基本協定締結 ・H29.10~: 学校配膳室等の整備 			事業実績	平成30年度2学期から4小学校・2中学校においてセンター方式給食提供を導入した。 ■センター方式給食提供導入に向けた準備 62,163,810円 ○配膳室整備(宮津小、吉津小、府中小) 45,495,000円 ○配膳台・食器等購入など 16,668,810円 ■学校給食の運営(センター方式給食提供分) 134,483,639円 ○2学期以降の4小学校・2中学校における学校給食調理等業務委託料 94,627,227円 ○食材費 37,733,217円 ○その他経費(配膳室維持管理費等) 2,123,195円 ■学校給食の運営(自校方式給食提供分) 10,755,294円 ○1学期の6小学校、2学期以降の2小学校における学校給食運営経費 ■学校給食委員会の開催 54,646円 ○委員27名(保護者代表8名、学校長8名、栄養教諭等3名、給食主任8名)					
	目 的 目 標	学校給食法第4条の規定に基づき実施する学校給食について、中学校給食を開始する。 あわせて、民間委託によるセンター方式給食提供を導入する。			成 果	民間委託によるセンター方式給食提供により、中学校での完全給食の実施が達成できた。 [宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■中学校完全給食実施数 H30目標: 全校 ⇒ H30実績: 全校 (H31目標: 全校)				
期 待 さ れ る 効 果				課 題 検 証		安全・安心な学校給食を提供する中での食育・給食指導の充実。				
市民参加 の状況	○H25.8月~11月 宮津小学校校舎改築等検討委員会(給食部会) : 保護者代表の参画 ○H28.7月~8月 学校給食あり方懇談会: 保護者代表の参画 ○H29.10月~12月 宮津市学校給食食材調達等に係る検討委員会 : 保護者代表の参画 ○H29.12月 宮津市子ども・子育て会議: 保護者代表の参画				担当部・課・係	教育委員会事務局	学校教育課	学校給食・施設係	TEL	45-1662

事業名	スクールバス運行事業 スクールバス購入事業			ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略			
				総合戦略 政策パッケージ	4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる					
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
67,152 千円	66,272 千円	70,354 千円	90,354,000	82,975,134		5,220,000	12,600,000	62,014,040	3,141,094	50,131 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス一般混乗型の運行 H15.4～：波見線、日ヶ谷線(2路線) H21.1～：田井線、島陰新宮線(2路線) H26.4～：日置世屋線(1路線) H27.4～：上宮津線(1路線) ・専用スクールバスの運行 H25.4～：由良方面1台(由良小統合により) H29.4～：日置・養老・日ヶ谷方面2台(養老中統合により) 			事業実績	スクールバス一般混乗型で6路線を運行するほか、専用スクールバス3台を運行した。 また、スクールバス一般混乗型の6路線の継続運行が困難になる中、新たに専用スクールバス車両を購入した。 ■スクールバス一般混乗型の運行 48,754,176円 ○6路線(波見線、日ヶ谷線、田井線、島陰新宮線、日置世屋線、上宮津線)をスクールバス一般混乗型として運行(丹後海陸交通(株)に委託・支援) ■専用スクールバスの運行 20,350,177円 ○栗田小学校(栗田幼稚園)【由良地区】4,250,590円 ○橋立中学校【日置・養老・日ヶ谷地区】16,099,587円 ■専用スクールバス車両(8人乗り車両、5台)の購入 12,664,144円 ※25人乗り車両1台は、次年度に繰り越し。 (平成31年4月下旬に納車済み)					
	目 的 目 標	遠距離通学する児童生徒の通学手段の確保を図るため、6路線の一般混乗型スクールバスを運行するほか、専用スクールバスを運行する。また、専用車両等を購入する。			成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の通学手段を確保するとともに、一般混乗型運行路線では一般住民のバス利用による二次交通手段を確保できた。 ・スクールバス一般混乗型の6路線の継続運行が困難になる中、平成31年4月からの専用スクールバス運行に係る体制が整った。 				
期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の通学手段確保 ・専用車両化による通学環境向上 			課 題 検 証		専用スクールバスの台数が大幅に増加する中での安全・安心で安定的な運行。				
市民参加 の状況					担当部・課・係	教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係	TEL	45-1641	22	

事業名	学校教育環境の整備・充実 ~学校施設の計画的な整備の推進~ (小学校施設整備事業、中学校施設整備事業、幼稚園施設整備事業) のびのび放課後クラブ事業 ~放課後児童クラブ施設の整備~				ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成 健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略		
					総合戦略 政策パッケージ	4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
H28決算	H29決算	H30当初予算 ※前年度繰越し含む	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
496,692 千円	960,404 千円	390,916 千円	679,716,000	435,631,442	59,079,000	8,869,000	366,500,000		1,183,442	97,650 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27. 3: 宮津市子ども・子育て支援事業計画策定 ・H28. 3: 宮津市教育振興計画策定 ・H29. 8: 学校施設整備年次計画策定 			事業実績	学校施設整備年次計画に基づき、学校施設の整備(エアコン設置、トイレ洋式化など)、放課後児童クラブ施設の整備を行った。 ■学校施設・放課後児童クラブ施設整備に係る実施設計費等 15,725,840円 ○通級指導教室(府中小)、放課後児童クラブ施設(栗田小内、府中小内) ○エアコン設置(栗田・吉津・府中・日置・養老小、宮津・栗田幼) ■学校施設整備に係る工事請負費 356,747,202円 ○宮津小学校校舎改築事業(北校舎解体、外構工事等) 143,435,322円 ○エアコン設置(宮津小(南校舎)、宮津中、栗田中) 128,261,880円 ○トイレ洋式化(宮津小(南校舎)) 31,984,200円 ○通級指導教室(府中小) 47,066,400円 ○その他(吉津小旧給食室解体等、宮津小(南校舎)屋根補修) 5,999,400円 ■放課後児童クラブ施設整備に係る工事請負費 63,158,400円 ○栗田小内 46,828,800円 ○府中小内 16,329,600円					
	目的 目標	学校施設整備年次計画に基づき、エアコン設置・トイレ洋式化100%の早期実現などを図るとともに、放課後児童クラブを学校の空き教室若しくは学校敷地内で実施するための所要の整備を図る。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン整備率 幼稚園: 36.3%、小学校: 59.3%、中学校: 54.8%、全体: 56.1% ・令和元年度でのエアコン設置(普通教室)100%に向けての準備が整った。 ・トイレ洋式化率 幼稚園: 21.6%、小学校: 53.0%、中学校: 22.6%、全体: 40.9% ・令和元年度からの(吉津小から府中小への)通級指導教室の移転準備が整った。 ・市設置の放課後児童クラブについて、令和元年度からの2箇所の新規開設準備が整った。 				
期待される効果	子どもたちにより良好な教育環境を提供 ・普通教室エアコン整備率100%(H32) ・洋式トイレ整備率100%(H32) 子どもたちが安心して放課後等を過ごすことができる			課題 検証		<ul style="list-style-type: none"> ・国の交付金等を確保した上での計画的な学校施設の整備 ・令和2年度からの開設に向けた吉津小内での放課後児童クラブ施設の整備 				
市民参加の状況					担当部・課・係 教育委員会事務局 学校教育課 学校給食・施設係		TEL	45-1662		23

事業名	図書館管理運営事業			ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略														
				総合戦略 政策パッケージ		4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる															
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算											
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源												
7,399 千円	79,182 千円	40,000 千円	38,736,000	38,598,502		7,000,000		31,000,000	598,502	29,134 千円											
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																	
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27 : 宮津市子ども・子育て支援事業計画(6つの重点プロジェクトの1つに「図書館の充実」を位置付け) ・H28.2 : 宮津市の図書館を考える会からの提言 ・H28 : 宮津市教育振興計画(宮津市にふさわしい新しい図書館の早期実現) ・H29.11 : 福祉・教育総合プラザ内に新しい図書館を移転オープン 			事業実績	■図書館管理運営事業 38,598,502円 宮津市立図書館基本的運営方針の基本目標を達成するため、蔵書の充実、サービスの充実等に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・児童書及び一般書・専門書の充実(図書等購入 図書9,139冊 CD・DVD73枚) ・移動図書館車の運行(遠隔地へ66日運行:1,636人利用、学校訪問18校園) ・お話し会の実施(52回開催1,042人参加、赤ちゃんお話し会開催12回190人参加) ・図書館講座、映画会の開催(農業関係講座等 217人参加) ・図書館オープン1周年記念イベントの開催(児童文学作家講演会 58人参加) ・平成30年4月から北部7市町連携による図書館相互利用を開始 																
					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総貸出冊数</td> <td>114,410</td> <td>91,312</td> <td>166,242</td> </tr> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>112,174</td> <td>157,106</td> <td>167,383</td> </tr> </tbody> </table>							平成28年度	平成29年度	平成30年度	総貸出冊数	114,410	91,312	166,242	蔵書冊数	112,174	157,106
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																		
総貸出冊数	114,410	91,312	166,242																		
蔵書冊数	112,174	157,106	167,383																		
目 的 目 標	宮津市立図書館基本的運営方針における基本方針「学びと育ちを支える図書館」「市民の役に立つ図書館」「出会いのある図書館」「市民が利用しやすい図書館」づくりを目指す。			成 果	■図書館基本的運営方針の基本目標 <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数 目標値75,000人(実績148,193人) ・貸出者数 目標値40,000人(実績38,599人) ・市民一人当たりの図書の貸出冊数 目標値10冊(実績9.3冊) ・おはなし会 回数目標値70回(実績64回) 参加人数目標値1,300人(実績1,232人) ・レファレンス 目標値400件(実績696件) 司書人数目標値5人(実績4.3人) ・ボランティア参加人数 目標値30人(実績24人) 																
期 待 さ れ る 効 果	図書資料の充実、おはなし会などの実施、また、子育て、観光、産業部局とのに連携より、図書館機能の充実及び市民サービスの向上が図れる。																				
市民参加 の状況				課 題 検 証	貸出者数及び貸出冊数の増加に向けた対策が必要。																
				担当部・課・係	教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係	TEL	45-1642		24												

事業名	地域福祉計画の策定(福祉事務事業)			ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略			
				総合戦略 政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する					
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債、	その他	一般財源	R1予算
— 千円	101 千円	443 千円	443,000	262,767					262,767	— 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・ H28.3 : 地域福祉推進計画を宮津市社協の活動計画と一体的に策定 ・ H29.6 : 社会福祉法の改正 (H30.4.1施行) 			事業実績	<p>■宮津市地域福祉計画 (H31.3策定) 262,767円 位置付け: 高齢者、障害者(児)、児童、健康づくり等各種計画の上位計画、成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づく市町村計画</p> <p>計画期間: 平成31年度から平成35年度 (5年間) 策定経過: H30.3 第1回宮津市地域福祉計画推進協議会※ H30.10 第2回宮津市地域福祉計画推進協議会(骨子ほか) H30.11 第3回宮津市地域福祉計画推進協議会(中間案) H30.12~1 中間案パブリックコメント H31.1 第4回宮津市地域福祉計画推進協議会(最終案ほか)</p> <p>[※協議会委員構成: 学識経験者、保健福祉医療等関係者ほか 計13名] 基本理念: ささえあい 安全に安心して暮らせる 福祉のまち みやづ 基本目標: (1)地域福祉を推進する人づくり (2)地域で助け合うつながりづくり (3)安心して生活できる環境づくり (4)地域での自立を支えるしくみづくり (5)権利と利益を護るしくみづくり</p> <p>基本施策: 15事業 個別施策: 39事業 (うち重点13事業)</p>					
	目的 目標	地域住民が、相互に協力し、地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会の確保を目的とした地域福祉の推進を図るための基本的な計画を策定する。			成果	<p>「公的福祉サービスを横断的に推進するための体制整備の確立」「子どもからお年寄りまでの全ての市民が生きがいを持って生活できる地域の実現」に向けて取組を進めていくための計画を策定し、施策を構築した。</p>				
期待される効果	・ 住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会(地域共生社会)の実現				<p>[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI]</p> <p>■地域サロン、ボランティア団体数 H30目標: 79団体 ⇒ H30実績: 76団体人 (H31目標: 80団体)</p>					
市民参加の状況	・ 市民ボランティアの計画協議会への参画			課題 検証						
				担当部・課・係	健康福祉部 社会福祉課 地域福祉係	TEL	45-1618	25		



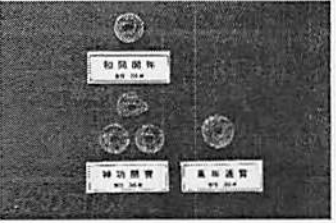
事業名	まちづくり応援事業			ビジョン 基本施策	—	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略							
				総合戦略 政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する									
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算				
				国庫支出金					府支出金	市 債	その他	一般財源		
62,536 千円	53,824 千円	71,500 千円	71,500,000	45,989,819						9,300,000	36,689,819	71,384 千円		
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容										
背景 経緯	<ul style="list-style-type: none"> 地域会議：H19より各地区で地域会議設置。現在全地区で地域会議設立。各地区の特色に応じ、様々なまちづくり活動が展開 まちづくり補助金等：H20のふるさと寄附税制、市民3大プロジェクトを契機に、まちづくり補助金を創設。以降、コミュニティ助成金等とともに多くの市民活動を支援 ふるさと宮津応援寄附：H27からインターネットサイトでの受付、クレジットカード決済を導入し、寄附しやすい環境を整備 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■地域会議交付金 1,300,000円(13地域会議×100,000円) 地域住民による地域課題解決のための会議体「地域会議」への活動支援 ・13地域会議…宮津中部、宮津西部、宮津東部、宮津城南部、宮津城東部、上宮津、栗田、由良、府中、日置、世屋、養老、日ヶ谷 ■地域会議交流会の開催 42,800円(2回開催) 各地域会議活動の情報共有や課題解決を目的とした地域会議交流会を開催 ■宮津市まちづくり補助金 2,490,000円(8団体) 市民団体等によるまちづくり活動への支援(市民による審査会において内容審査) ■宮津市コミュニティ助成金 5,600,000円(3団体) (一財)自治総合センターの助成制度を活用し、自治会のコミュニティ活動を支援 ■ふるさと宮津応援寄附の推進 36,557,019円 (寄附件数・金額 3,978件、71,066,247円) インターネットサイト等を通じての寄附のPR、受付と寄附者への返礼品の送付等 									
	目的 目標	<ul style="list-style-type: none"> 市民と行政の協働の重要な核となる地域会議活動を充実させるとともに、市民や地域等におけるまちづくり活動を促進し、市民と行政の協働を推進する。 全国的なふるさと納税ブームや、インターネットサイト活用による利便性の向上を踏まえ、ふるさと宮津応援寄附年間1億2,000万円を目標とする。 			成果	<ul style="list-style-type: none"> ■地域会議交付金・地域会議交流会の開催 地域における課題解決に自主的に実施される事業等を支援することで、市民協働を図ることができた。 ■宮津市まちづくり補助金 様々な分野の新たな市民活動の立ち上げを支援することができ、市民と行政の協働によるまちづくりができた。 ■コミュニティ助成事業 地域コミュニティの更なる結束に貢献することができた。 ■ふるさと宮津応援寄附の推進 ふるさと産品の充実や納税サイトへの業務委託、クレジットカード決済の実施等により、寄附額を確保することができた。 								
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 市民によるまちづくり活動、地域活動の拡大 地域コミュニティのより一層の充実 ふるさと宮津応援寄附金額の拡大、産品を通じての宮津市のPR 			課題 検証		宮津市まちづくり補助金において、補助事業終了後の団体の活動等について、状況によりフォローアップの必要がある。								
市民参加の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地域会議：地域課題解決のための会議体への参画等 まちづくり補助金、コミュニティ助成金：多くの市民活動の促進 ふるさと宮津応援寄附：宮津市のPR、寄附を依頼 				担当部・課・係		企画財政部 企画課 魅力発信係	TEL	45-1609	26				

事業名	KTR支援事業			ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略			
				総合戦略 政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する					
H28決算	H29決算	H30当初予算 ※前年度繰越し含む	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
179,087 千円	190,306 千円	203,388 千円	320,487,000	187,968,527		4,633,000	136,400,000	14,000,000	32,935,527	314,960 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H26.12:北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画策定 ・H27.4:上下分離方式により、ウィラートレインズ(株)が京都丹後鉄道の運行を開始 ・H27~:リニューアル特急車両「丹後の海」導入(H27~H29の3年間) 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■北近畿タンゴ鉄道支援費基盤管理補助金 84,082,000円(総事業費745,533,000円) 基盤整備や維持に係る線路や電路、車両関係の人件費や修繕費など ■鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金 51,293,425円(総事業費680,955,888円) 保安通信設備の更新や線路・電路設備の更新、車両検査など軌道輸送対策を支援 ■宮福線等電化・高速化支援補助金 20,661,801円(H30年度分償還金) H7年度に実施した天橋立~福知山間の電化・高速化整備に係るKTR償還金を支援(期間:H8~H32年度) ■交通施設バリアフリー化設備等整備費補助金 9,266,816円(H30年度分償還金) H23年度に実施した宮津駅・天橋立駅の交通施設バリアフリー化設備等整備事業(エレベーター等の設置)に係るKTR償還金を支援(期間:H24~H33年度) ■災害復旧対応(鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金) 16,725,485円(総事業費315,363,662円) 台風18号(H29年9月)、台風21号(H29年10月)分(H29年度繰越) ■京都丹後鉄道災害運行支援補助金 5,939,000円(総事業費52,914,000円) H30年7月6日から8日に発生した豪雨被害に伴い生じた、減収及び経費のうち、定期外運輸入の減収分、代行バス運行経費、受取車両使用料の減収分を沿線自治体で支援 					
目的 目標	北近畿タンゴ鉄道(株)が行う鉄道施設及び車両の整備・更新等に係る費用を沿線自治体で支援し、安心・安全・快適性の確保及び持続可能な地域交通網の維持を図る。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全・快適な運行のための路線網を維持することができた。 ・H30年度の利用者数は1,650,783人。7月豪雨や台風、大阪での地震等により長期間の運休を余儀なくされるなど、運行に支障をきたす災害が多く発生し、利用者が減少した。利用者の回復のため、民間企業による、海の京都ふっこう周遊パスの発売といった観光誘客施策や、メディア戦略の強化に取り組んだ。 					
期待される効果	地域鉄道の安定確保				[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■京都丹後鉄道利用者数 H30目標:197万人 ⇒ H30実績:165万人(H31目標:200万人)					
市民参加 の状況				課題 検証	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全・快適な運行のためインフラの老朽化が進む北近畿タンゴ鉄道(株)への支援が引き続き必要 ・特急車両利用者の増加を図っていくことが必要 					
	担当部・課・係				企画財政部 企画課 企画政策係	TEL	45-1664		27	

事業名	地方バス路線運行維持対策事業			ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略																																				
				総合戦略 政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する																																						
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳																																						
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	R1予算																																	
32,064 千円	39,358 千円	39,358 千円	36,630,000	35,661,000		384,000		35,000,000	277,000	44,965 千円																																	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																																							
背景 経緯	<ul style="list-style-type: none"> H25.4 : 由良小の栗田小への統合により専用スクールバス運行 H25.10 : 宮津与謝エリア上限200円バス社会実験開始 H26.4 : 日置中の橋立中への再編により日置世屋線を橋立中まで延伸 H27.4 : 上宮津小の宮津小への再編により上宮津線の系統追加 H27.10 : 宮津与謝エリア上限200円バス社会実験を2年間延長 H29.4 : 日置世屋線の木子への延伸、島陰新宮線の由良及び宮津市街地への延伸、養老中の橋立中への再編により専用スクールバス運行 H29.10 : 宮津与謝エリア上限200円バス本運行に移行 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■幹線路線への支援(伊根線・蒲入線・経ヶ岬線・福知山線・与謝線) 27,969,000円 乗車人員 337,395人 運行経費 197,306,557円 ■枝線路線への支援(上宮津線) 7,692,000円 乗車人員 3,304人 運行経費 7,968,000円 																																						
					<p style="text-align: right;">(単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>路線名</th> <th>H24</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幹線</td> <td>伊根、蒲入、経ヶ岬、福知山、与謝</td> <td>168,942</td> <td>266,354</td> <td>272,395</td> <td>303,291</td> <td>337,395</td> </tr> <tr> <td>枝線 (府制度活用)</td> <td>上宮津、(世屋畑)</td> <td>6,040</td> <td>4,937</td> <td>3,049</td> <td>3,278</td> <td>3,304</td> </tr> <tr> <td>枝線 (スクール一般混乗型)</td> <td>日ヶ谷、波見、田井、島陰新宮、日置世屋、上宮津2・(3)</td> <td>33,841</td> <td>34,055</td> <td>35,470</td> <td>36,816</td> <td>37,786</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>208,823</td> <td>305,346</td> <td>310,914</td> <td>343,385</td> <td>378,485</td> </tr> </tbody> </table> <p>※期間は当該年10月1日から翌年9月末までの数値 ※世屋畑線は、H26.3月末まで運行 ※上宮津線3は、H27.4月～9月まで運行 ※枝線(スクール一般混乗型)の事業費は、事業等説明資料22に記載</p>							路線名	H24	H27	H28	H29	H30	幹線	伊根、蒲入、経ヶ岬、福知山、与謝	168,942	266,354	272,395	303,291	337,395	枝線 (府制度活用)	上宮津、(世屋畑)	6,040	4,937	3,049	3,278	3,304	枝線 (スクール一般混乗型)	日ヶ谷、波見、田井、島陰新宮、日置世屋、上宮津2・(3)	33,841	34,055	35,470	36,816	37,786			208,823	305,346	310,914
	路線名	H24	H27	H28	H29	H30																																					
幹線	伊根、蒲入、経ヶ岬、福知山、与謝	168,942	266,354	272,395	303,291	337,395																																					
枝線 (府制度活用)	上宮津、(世屋畑)	6,040	4,937	3,049	3,278	3,304																																					
枝線 (スクール一般混乗型)	日ヶ谷、波見、田井、島陰新宮、日置世屋、上宮津2・(3)	33,841	34,055	35,470	36,816	37,786																																					
		208,823	305,346	310,914	343,385	378,485																																					
目的	<ul style="list-style-type: none"> 遠距離通学する児童生徒の安全確保及び公共交通網の維持、利便性向上を図るため、6路線の一般混乗型スクールバスを運行するほか、専用スクールバスを運行する。 交通弱者を中心とした地域住民の移動手段及び鉄道路線からの二次交通手段を確保するため、路線バスの運行経費に対し支援し、利便性向上等を進め適切な公共交通の維持を図る。 			成果	<ul style="list-style-type: none"> バス利用による二次交通手段を確保できた。 社会実験として導入した上限200円バス(H29.10～本運行)は、目標利用者数を導入前の2.0倍とするなかで、平成30年度(H29.10～H30.9)実績は導入前の平成24年度(H23.10～H24.9)対比の約2倍となり、目標を達成。また、前年度実績と比べ11%の利用者増となった。 日ヶ谷線の藪田までの延伸により、公共交通空白地(1集落)が解消された。 <p>[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■200円バス利用者数 H30目標:32万人 ⇒ H30実績:33万人(H31目標:33万人) ■公共交通空白地 H30目標:4集落 ⇒ H30実績:4集落(H31目標:0集落) 																																						
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 通勤通学、買物通院等移動の利便向上 利用者拡大による健全な公共交通の維持 遠距離通学する児童生徒の安全確保 																																										
市民参加 の状況	地域公共交通会議において、ダイヤ、運賃、路線等について協議 H29.8 宮津与謝エリア上限200円バス本運行移行を承認 H30.2 日ヶ谷線の延伸、日置世屋線の短縮を承認			課題 検証	<ul style="list-style-type: none"> 宮津与謝エリア上限200円バスは本運行に移行し、目標を達成したが、今後も利用促進策を継続して実施していく必要がある。 バスの運転士不足が深刻となっており、交通手段の再編も含めた施策の検討が必要となっている。 																																						
					担当部・課・係	企画財政部	企画課	企画政策係	TEL	45-1664	28																																


事業名	水産基盤施設の整備(漁港整備事業・海岸保全施設整備事業)			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造 への転換戦略			
				総合戦略 政策パッケージ	—					
H28決算	H29決算	H30当初予算 ※前年度繰越し含む	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
88,562 千円	103,474 千円	105,137 千円	105,137,000	55,109,520	26,129,500	8,709,000	10,300,000	427,356	9,543,664	80,000 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	<ul style="list-style-type: none"> 漁業生産活動に必要な生産基盤として、小型漁船の安全な係留場所の確保に対する強い要望がある。 栗田半島東側に位置する海岸については、背後地は人家が密集しており、離岸堤が設置されていない箇所において、波浪時には非常に危険な状態である。 海岸保全施設は、築造後相当の年月を経過し、部材の経年変化、波力等の影響による損傷や機能低下が進行しており、適切な機能を継続的に発揮していくためには、効果的かつ効率的な維持管理・更新等により施設の長寿命化や更新コストの削減を図ることが強く求められている。 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■漁港整備事業 2,849,040円(繰越分) <ul style="list-style-type: none"> ○事業地区 田井(栗田)漁港 ○事業内容 漁船保管施設用地・漁具干場の舗装及び漁港道路修繕 ○事業量 用地舗装 A=892㎡、道路舗装修繕 L=372m ○事業費 工事費 2,287,440円(用地舗装) 修繕料 561,600円(道路舗装補修) ■海岸保全施設整備事業 25,200,000円 <ul style="list-style-type: none"> ○事業地区 栗田漁港海岸地区(脇地区) ○事業内容 離岸堤(消波ブロックの製作・設置) ○事業費 工事費 25,200,000円 離岸堤 L=55m(前払金のみ) (工事費 45,741,960円 R元へ繰越) <参考> 全体計画:脇 3基、小寺 1基、小田宿野 3基 ■海岸保全施設長寿命化計画策定事業 27,060,480円 <ul style="list-style-type: none"> ○事業内容 栗田漁港・養老漁港に係る海岸保全施設の長寿命化計画を策定 ○事業費 委託料 27,060,480円 					
目的 目標	<ul style="list-style-type: none"> 漁港については、船揚場の拡張等による小型漁船の安全な係留場所の確保を図り、漁業生産活動の安全を確保する。 海岸については、離岸堤の設置により波浪等から海岸を防護し、背後住民の生命・財産の保全を図るとともに、海岸保全施設の老朽化に対応するため、長寿命化計画を策定し、効果的かつ効率的な海岸保全施設の維持・更新を図る。 			成果	<ul style="list-style-type: none"> 漁業の基盤である漁港施設の改修等を図り、漁業生産活動等の安全性の向上が図れた。 					
期待 される 効果	<ul style="list-style-type: none"> 漁船の安全な停泊及び係留の確保と泊地内の静穏度向上 背後住民の生命・財産の保全 施設の長寿命化による施設更新経費の削減・平準化 			課題 検証						
市民参加 の状況				担当部・課・係	産業経済部 農林水産課 産業基盤係	TEL	45-1627	29		

事業名		宮津与謝環境組合分担金		ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—																																																																			
				総合戦略 政策パッケージ	—																																																																					
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算																																																																
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																																																																	
133,857 千円	364,418 千円	388,213 千円	388,213,000	388,213,000			370,200,000		18,013,000	1,649,136 千円																																																																
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																																																																						
背 景 経 緯	<p>平成4年竣工の宮津市清掃工場は老朽化が懸念されるとともに、平成19年3月に地元との設置期限が終了後、地元へ毎年延長を依頼し、同意を得て運転している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25～ 1市2町で宮津与謝環境組合を設立し整備候補地の生活影響調査等実施 ・H27～ 候補地地元の建設同意・敷地造成工事着手 ・H28.4 DBO事業者と契約締結 ・H28.11 敷地造成工事完了 ・H29.1～ 施設建設工事着手 (R2.4実質稼働、R2.6末竣工予定) ・H29.4～H29.10 転石除去等に伴う追加工事 			事業実績	<p>■宮津与謝環境組合分担金 388,213,000円 (本市負担割合43.4883%)</p> <p>○宮津与謝環境組合の平成30年度事業費(A)に対する本市負担金</p> <p>事業費実績とR1年度以降の見込み (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設建設工事 (設計施工監理含む)</td> <td>36,311</td> <td>1,283,049</td> <td>1,260,543</td> <td>6,242,541</td> <td>1,052,957</td> <td>9,875,401</td> </tr> <tr> <td>表層地盤改良工事</td> <td>3,000</td> <td>32,625</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>35,625</td> </tr> <tr> <td>土砂流入・防災対策工事</td> <td></td> <td></td> <td>3,848</td> <td>53,700</td> <td></td> <td>57,548</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>229,219</td> <td>4,104</td> <td>2,675</td> <td>6,300</td> <td></td> <td>242,298</td> </tr> <tr> <td>組合事務局運営費</td> <td>39,270</td> <td>31,017</td> <td>44,786</td> <td>43,516</td> <td>42,502</td> <td>201,091</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>307,800</td> <td>1,350,795</td> <td>1,311,852</td> <td>6,346,057</td> <td>1,095,459</td> <td>10,411,963</td> </tr> <tr> <td>国交付金等</td> <td></td> <td></td> <td>419,168</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差引(A)</td> <td></td> <td></td> <td>892,684</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>分担金負担割合 宮津市 43.4883% (人口割) 伊根町 4.9800% 与謝野町 51.5317%</p>								H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	施設建設工事 (設計施工監理含む)	36,311	1,283,049	1,260,543	6,242,541	1,052,957	9,875,401	表層地盤改良工事	3,000	32,625				35,625	土砂流入・防災対策工事			3,848	53,700		57,548	その他	229,219	4,104	2,675	6,300		242,298	組合事務局運営費	39,270	31,017	44,786	43,516	42,502	201,091	合 計	307,800	1,350,795	1,311,852	6,346,057	1,095,459	10,411,963	国交付金等			419,168				差引(A)			892,684			
		H28年度	H29年度		H30年度	R1年度	R2年度	合計																																																																		
	施設建設工事 (設計施工監理含む)	36,311	1,283,049		1,260,543	6,242,541	1,052,957	9,875,401																																																																		
	表層地盤改良工事	3,000	32,625					35,625																																																																		
	土砂流入・防災対策工事				3,848	53,700		57,548																																																																		
	その他	229,219	4,104		2,675	6,300		242,298																																																																		
	組合事務局運営費	39,270	31,017		44,786	43,516	42,502	201,091																																																																		
	合 計	307,800	1,350,795		1,311,852	6,346,057	1,095,459	10,411,963																																																																		
	国交付金等				419,168																																																																					
	差引(A)				892,684																																																																					
目 的	宮津市、伊根町及び与謝野町で組織する宮津与謝環境組合において、新たな広域ごみ処理施設を整備することにより、一般廃棄物の安定処理を図るとともに、本市の循環型社会の形成に寄与するため。			成果	令和2年4月からの新施設の実質稼働に向けて計画どおり工事は進んでいる。 ※平成30年度末工事進捗率：35.1% (建物64%、プラント6.1%)																																																																					
期 待 さ れ る 効 果																																																																										
市民参加 の状況					課 題 検 証																																																																					
				担当部・課・係	市民部 市民課 環境衛生係	TEL	45-1617	30																																																																		

事業名	市内遺跡発掘調査事業			ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	—							
				総合戦略 政策パッケージ	—									
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算				
				国庫支出金					府支出金	市 債	その他	一般財源		
2,063 千円	2,055 千円	2,500 千円	2,554,000	2,553,693	1,250,000	625,000				678,693	2,000 千円			
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容										
背 景 経 緯	<p>■市内の重要遺跡の範囲内容確認調査を年次的な計画に基づき実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H21～26年度：成相寺旧境内(古代・中世/山岳寺院) ⇒H28.10に国史跡に指定 ・H21～27年度：難波野遺跡(弥生～中世) ・H28～31年度：安国寺遺跡(弥生～中世) ⇒28・29年度調査において奈良～平安時代の建物跡や「国」と書いた墨書土器、奈良から平安時代の土器が多数出土しており、古代丹後国府に関わる遺跡の可能性が高まっている。 			事業実績	<p>■安国寺遺跡発掘調査 2,553,693 円</p> <p>安国寺遺跡は、古代の丹後国府や雪舟「天橋立図」(国宝)に描かれた中世寺院・安国寺の候補地で、古代～中世の「丹後府中」の繁栄を示す重要遺跡であることから、遺跡の範囲・内容を把握するために発掘調査を年次的に実施し、遺跡の価値を明らかにするとともに、その成果を市民に発信した。</p> <p>調査期間：平成30年10月9日から12月21日 調査面積：143㎡(6ヶ所) 整理作業：図面・写真の整理や出土品の水洗・接合など実施。</p> <p>普及啓発事業： (1)小学生野外学習会 平成30年12月14日 約40人 (2)現地説明会 平成30年12月15日 約45人 (3)浜町ギャラリーパネル展示 平成31年2月1日から2月10日 10日間 約500人来訪</p>					 				
	目 的 目 標	<p>宮津に残る優れた歴史遺産の保全活用を進めるため、市内の重要遺跡の範囲内容確認調査を継続して実施。地下に埋もれた遺跡の歴史的价值を明らかにし、保全活用のための基礎資料を作成し、今後の歴史文化を活かした地域のまちづくりにつなげていく。</p>			成 果	<p>奈良時代末に使用された和同開珎、萬年通宝、神功開宝31枚がまとまって出土した。古代の銅銭は平城京や平安京などの都以外では、国府などの役所や寺院で出土することが多く、安国寺遺跡が丹後国府の一角である可能性が高まった。</p>								
期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな歴史資源・価値の発掘 ・市民の郷土意識と誇りの涵養 ・歴史を生かす観光施策の新展開 ・世界遺産推進に向けた地域の価値付け 			課 題 検 証		<ul style="list-style-type: none"> ・古代の銅銭が出土し国府に関連する可能性が高まったため、調査区の周辺において面的な調査を実施し、建物跡の配置や性格を確認する必要がある。 ・雪舟「天橋立図」に描かれた中世・安国寺の遺構は未発見のため、中世の遺構の広がりについても調査を引き続き行う必要がある。 ・安国寺遺跡の重要性が明らかとなったことから、保存に向けたデータの収集を目的として、系統的な調査を継続し遺跡全体の遺構・文化層の広がりを把握する必要がある。 								
市民参加 の状況	<p>○発掘調査成果の現地説明会の開催 小学校対象 (H29.12.15) 約40人 一般対象 (H28.12.16) 約40人</p>				担当部・課・係		教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係		TEL	45-1642	31			

事業名	いきいき健康長寿のまち“みやづ”推進事業			ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	—																																						
				総合戦略 政策パッケージ	—																																								
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算																																			
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																																				
43,378 千円	47,721 千円	50,580 千円	49,297,000	46,387,091	285,000	1,240,536		3,740,038	41,121,517	45,113 千円																																			
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																																									
背景 経緯	本市の高齢化率は40%を超えており、さらに要介護認定率や市民一人あたりの医療費が上昇している。その中で、健康で元気に生活できる期間「健康寿命」を延伸させることが重要			事業実績	■早期予防・早期発見の推進 40,922,314円 ○受診率の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30(前年比)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診</td> <td>39.2%</td> <td>44.1%</td> <td>45.6%</td> <td>— ※</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>17.5%</td> <td>20.6%</td> <td>18.8%</td> <td>16.1%(△2.7%)</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>36.3%</td> <td>40.7%</td> <td>39.0%</td> <td>36.3%(△2.7%)</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>32.0%</td> <td>40.9%</td> <td>39.4%</td> <td>36.7%(△2.7%)</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>36.3%</td> <td>43.0%</td> <td>42.5%</td> <td>38.6%(△3.9%)</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>30.6%</td> <td>35.1%</td> <td>36.2%</td> <td>34.0%(△2.2%)</td> </tr> </tbody> </table> ※H30年度特定健診受診率は、R1.11月頃に確定							H27	H28	H29	H30(前年比)	特定健診	39.2%	44.1%	45.6%	— ※	胃がん検診	17.5%	20.6%	18.8%	16.1%(△2.7%)	肺がん検診	36.3%	40.7%	39.0%	36.3%(△2.7%)	大腸がん検診	32.0%	40.9%	39.4%	36.7%(△2.7%)	乳がん検診	36.3%	43.0%	42.5%	38.6%(△3.9%)	子宮がん検診	30.6%	35.1%	36.2%	34.0%(△2.2%)
		H27	H28		H29	H30(前年比)																																							
特定健診	39.2%	44.1%	45.6%	— ※																																									
胃がん検診	17.5%	20.6%	18.8%	16.1%(△2.7%)																																									
肺がん検診	36.3%	40.7%	39.0%	36.3%(△2.7%)																																									
大腸がん検診	32.0%	40.9%	39.4%	36.7%(△2.7%)																																									
乳がん検診	36.3%	43.0%	42.5%	38.6%(△3.9%)																																									
子宮がん検診	30.6%	35.1%	36.2%	34.0%(△2.2%)																																									
					■健康づくり運動の推進 5,236,351円 ○健康広場活動の支援 住民主体の健康づくりの場「健康広場」の活動を支援。(346回・3,202人参加) ・健康広場交付金 13地区 313,605円 ○地域巡回指導 活動量計を貸与するとともに、職員が地域に出向き活動記録の提供と健康指導。(70回・1,289人参加) ○運動教室の開催 15回 159人参加 ■食による健康づくりの推進 228,426円 宮津市食生活改善推進員協議会に委託して食育講習会等を開催。(146回・1,627人参加)																																								
目的 目標	病気の早期予防・早期発見や運動面、栄養面など多様な視点から市民の健康づくりを応援し、健康寿命の延伸を図る。			成果	H24年度から活動をスタートした健康広場は、地域の健康づくり活動として定着してきた。⇒R1年度からは公民館事業の一つとして活動																																								
期待される効果	・病気の早期予防早期発見 ・運動面からの健康づくり ・栄養面からの健康づくり ・健康寿命の延伸																																												
市民参加の状況	(健康広場への参加人数等) H27:275回、3,835人 ⇒ H28:271回、3,370人 (主な検診受診率 H24⇒H29) 胃がん:18.0%⇒18.8% 大腸がん27.4%⇒39.4% 乳がん:33.7%⇒42.5%			課題 検証	H28から健診費用の無料化に取り組んだが、H29、H30と受診率が低下した。R1から有料化とすることもあり、受診勧奨の工夫が必要。																																								
					担当部・課・係	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係	TEL	45-1624	32																																				

事業名	道路新設改良事業			ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—																																					
				総合戦略 政策パッケージ	—																																							
H28決算	H29決算	H30当初予算 ※前年度繰越し含む	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算																																		
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																																			
113,609 千円	48,627 千円	146,706 千円	146,706,000	70,224,859	32,192,273		35,600,000		2,432,586	103,585 千円																																		
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																																								
背景 経緯	社会資本整備総合交付金等を活用し、生活に密着した道路を計画的に点検・整備を行う。 ・H24：橋梁長寿命化修繕計画策定 ・H25：道路ストック点検実施 ・H26：宮津市通学路交通安全プログラム策定			事業実績	■市道の改良及び橋梁の長寿命化を実施 70,224,859円 (単位:円)																																							
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>金額</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中田線(中田橋)道路改良工事</td> <td>34,894,800</td> <td>繰越分 L=150.7m 橋梁下部工(1基)、道路築造工</td> </tr> <tr> <td>撥雲洞トンネル点検業務委託</td> <td>3,440,880</td> <td>L=126m トンネル点検</td> </tr> <tr> <td>妙見山線道路改良工事</td> <td>5,850,360</td> <td>L=48.0m 側溝工</td> </tr> <tr> <td>浜垣中瀬線道路改良工事</td> <td>6,825,600</td> <td>L=132.8m 側溝工</td> </tr> <tr> <td>浜垣中瀬線他区画線設置工事</td> <td>918,000</td> <td>L=600m 区画線工</td> </tr> <tr> <td>妙見山線他舗装工事</td> <td>2,837,160</td> <td>L=115.3m 舗装工</td> </tr> <tr> <td>宮津中学校線道路改良工事</td> <td>3,924,720</td> <td>L=39.6m 側溝工</td> </tr> <tr> <td>宮津中学校線用地測量業務委託</td> <td>1,080,000</td> <td>L=120m 境界確定業務</td> </tr> <tr> <td>小田辛皮線測量設計業務委託</td> <td>9,617,400</td> <td>繰越分L=500m 路線測量・道路詳細設計</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>835,939</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>70,224,859</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>[参考] ○令和元年度への繰越額 中田橋橋梁改良工事 50,560 千円</p>						事業名	金額	概要	中田線(中田橋)道路改良工事	34,894,800	繰越分 L=150.7m 橋梁下部工(1基)、道路築造工	撥雲洞トンネル点検業務委託	3,440,880	L=126m トンネル点検	妙見山線道路改良工事	5,850,360	L=48.0m 側溝工	浜垣中瀬線道路改良工事	6,825,600	L=132.8m 側溝工	浜垣中瀬線他区画線設置工事	918,000	L=600m 区画線工	妙見山線他舗装工事	2,837,160	L=115.3m 舗装工	宮津中学校線道路改良工事	3,924,720	L=39.6m 側溝工	宮津中学校線用地測量業務委託	1,080,000	L=120m 境界確定業務	小田辛皮線測量設計業務委託	9,617,400	繰越分L=500m 路線測量・道路詳細設計	事務費	835,939		合計
事業名	金額	概要																																										
中田線(中田橋)道路改良工事	34,894,800	繰越分 L=150.7m 橋梁下部工(1基)、道路築造工																																										
撥雲洞トンネル点検業務委託	3,440,880	L=126m トンネル点検																																										
妙見山線道路改良工事	5,850,360	L=48.0m 側溝工																																										
浜垣中瀬線道路改良工事	6,825,600	L=132.8m 側溝工																																										
浜垣中瀬線他区画線設置工事	918,000	L=600m 区画線工																																										
妙見山線他舗装工事	2,837,160	L=115.3m 舗装工																																										
宮津中学校線道路改良工事	3,924,720	L=39.6m 側溝工																																										
宮津中学校線用地測量業務委託	1,080,000	L=120m 境界確定業務																																										
小田辛皮線測量設計業務委託	9,617,400	繰越分L=500m 路線測量・道路詳細設計																																										
事務費	835,939																																											
合計	70,224,859																																											
目的 目標	道路・橋りょう等の老朽化が進む中、道路ストック点検、橋梁長寿命化修繕計画及び宮津市通学路交通安全プログラムに基づき、施設の計画的な整備・修繕や長寿命化を図り、安全で安心して暮らせる快適な生活環境づくりに努める。			成果	市民が安全で安心して過ごし続けられるよう、快適な暮らしの基盤の維持・整備に努め、道路の機能性や安全性を図ることができた。																																							
期待される効果	・児童・生徒の安全な通学環境の確保 ・道路施設の危険性に対する道路利用者の安全確保																																											
市民参加の状況				課題 検証	・社会資本整備総合交付金事業の活用にあたり、計画的な整備・修繕を進めていく必要がある。 ・宮津市通学路交通安全プログラムに基づき、宮津市通学路安全推進協議会において適切にPDCAサイクルを繰り返す必要がある。																																							
				担当部・課・係	建設部 土木管理課 土木係	TEL	45-1629	33																																				

事業名	公共土木施設災害復旧事業			ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—																																																																			
				総合戦略 政策パッケージ	—																																																																					
H28決算	H29決算	H30当初予算 ※前年度繰越し含む	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算																																																																
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																																																																	
2,446 千円	120,530 千円	549,000 千円	1,426,369,496	731,702,557	296,548,203		431,000,000		4,154,354	139,594 千円																																																																
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																																																																						
背 景 経 緯	■公共土木施設の被災原因 ○平成29年9月16日～18日の台風18号による豪雨 ○平成29年10月21日～23日の台風21号による豪雨 ○平成30年7月5日～8日の梅雨前線豪雨 ○平成30年9月29日～10月1日の台風24号による豪雨			事業実績	■公共土木施設災害復旧事業 731,702,557円 (単位:円)																																																																					
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 災</th> <th>工 種 別</th> <th>決定箇所</th> <th>復旧箇所</th> <th>事 業 費</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">H29 災害</td> <td>河 川</td> <td>35</td> <td>25</td> <td>242,164,480</td> <td>10箇所R1実施</td> </tr> <tr> <td>道 路</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>76,457,160</td> <td>2箇所R1実施</td> </tr> <tr> <td>都市排水路</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>19,027,060</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単独災害</td> <td>103</td> <td>33</td> <td>90,985,493</td> <td>70箇所H29完成</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工事費計</td> <td>162</td> <td>80</td> <td>428,634,193</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">H30 災害</td> <td>河 川</td> <td>37</td> <td>6</td> <td>26,632,680</td> <td>31箇所R1実施</td> </tr> <tr> <td>道 路</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>27,518,320</td> <td>14箇所R1実施</td> </tr> <tr> <td>都市排水路</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>29,255,040</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単独災害</td> <td>237</td> <td>134</td> <td>104,288,570</td> <td>103箇所R1実施</td> </tr> <tr> <td>工事費計</td> <td>297</td> <td>149</td> <td>187,694,610</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>委託費</td> <td></td> <td></td> <td>115,373,754</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計(H29工事費計+H30工事費計+委託費)</td> <td></td> <td></td> <td>731,702,557</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年 災	工 種 別	決定箇所	復旧箇所	事 業 費	備 考	H29 災害	河 川	35	25	242,164,480	10箇所R1実施	道 路	22	20	76,457,160	2箇所R1実施	都市排水路	2	2	19,027,060		単独災害	103	33	90,985,493	70箇所H29完成		工事費計	162	80	428,634,193		H30 災害	河 川	37	6	26,632,680	31箇所R1実施	道 路	20	6	27,518,320	14箇所R1実施	都市排水路	3	3	29,255,040		単独災害	237	134	104,288,570	103箇所R1実施	工事費計	297	149	187,694,610			委託費			115,373,754			合計(H29工事費計+H30工事費計+委託費)		
年 災	工 種 別	決定箇所	復旧箇所	事 業 費	備 考																																																																					
H29 災害	河 川	35	25	242,164,480	10箇所R1実施																																																																					
	道 路	22	20	76,457,160	2箇所R1実施																																																																					
	都市排水路	2	2	19,027,060																																																																						
	単独災害	103	33	90,985,493	70箇所H29完成																																																																					
	工事費計	162	80	428,634,193																																																																						
H30 災害	河 川	37	6	26,632,680	31箇所R1実施																																																																					
	道 路	20	6	27,518,320	14箇所R1実施																																																																					
	都市排水路	3	3	29,255,040																																																																						
	単独災害	237	134	104,288,570	103箇所R1実施																																																																					
	工事費計	297	149	187,694,610																																																																						
	委託費			115,373,754																																																																						
	合計(H29工事費計+H30工事費計+委託費)			731,702,557																																																																						
目 的 目 標	集中豪雨等により被災を受けた公共土木施設(河川・道路等)の早期復旧に努め、施設の機能回復を図るとともに、地域の安全と生活基盤の安定を図る。			成 果	集中豪雨等により被災を受けた公共土木施設(河川・道路等)の災害復旧工事を実施し、地域の安全と生活基盤の安定を図ることができた。																																																																					
期 待 さ れる 効 果	地域の安全と生活基盤の安定				 被災状況  復旧状況																																																																					
市民参加 の状況				課 題	度重なる災害で施工業者が不足しており、復旧工事に遅れが生じている。																																																																					
				検 証																																																																						
				担当部・課・係	建設部 土木管理課 土木係	TEL	45-1629		34																																																																	

事業名	議会活性化の取組(議会運営事業)			ビジョン 基本施策	—					ビジョン 重点戦略	—				
				総合戦略 政策パッケージ	—										
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算					
									国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
2,459 千円	1,974 千円	2,179 千円	2,179,000	2,009,809								2,009,809	1,803 千円		
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容											
背 景 経 緯	H24.4.1 議会基本条例施行 H24 議会報告会の開催(年2回継続)、議会録画中継、一般質問新聞折込 H26.12 一般質問に「一問一答制」を導入 H27.3 議員提案で「ふるさと宮津を守り育てる条例」を制定 H27.6 会議録検索システムの導入 H28 議会だよりリニューアル(表紙カラー・中2色刷)所管別常任委員会で、所管事務調査を実施(毎年継続) H30.3 議員定数条例一部改正(定数16名→14名) H31.3 議員提案で「宮津市議会議員政治倫理条例」を制定			事業実績	■議会改革・活性化の取組 2,009,809円 ○議員研修会、視察研修の充実 77,265円 ○議会だよりの発行 977,184円 議員による取材記事や市民の声の掲載、議案に対する賛否状況の公表などを行い、市民に親しみやすく、わかりやすい紙面構成に努めた。 ○市民と議会の懇談会(議会報告会)の開催 3,200円 各地区毎(12会場)に加え、多様な意見を聴取するため、各種団体と懇談会を開催した。 ○会議録検索システム保守管理業務 455,760円 ○議会インターネット動画(録画)配信 196,992円 ○一般質問通告一覧表の新聞折込 299,408円 ○所管事務調査の実施 所管別常任委員会の所管事務調査として、調査項目を設定し、関係団体との意見交換や先進地視察を行い、視察報告会を開催するとともに、所管事務調査報告書・提言書をまとめ、市長へ提出した。 ○政治倫理に関する特別委員会の活動 委員会で協議を重ね、議員の「品位の保持や行動規範等」を定めた「宮津市議会議員政治倫理条例」を制定した。										
	目 的 目 標	議会基本条例に基づき、市民に身近でわかりやすい、開かれた議会を目指して情報公開に取り組むとともに、市民に対して議会の議決・運営についての説明責任を果たす。			成 果	議会報告会や所管事務調査を実施する中で、市民や関係団体等から意見や要望を聴取し、先進地視察や執行部との意見交換などを行い、市長に報告書及び提言書を提出するなど、議会の活性化につながった。 本会議傍聴者数 H30 214人 議会報告会参加者数 H30 256人									
期 待 さ れ る 効 果				課 題 検 証											
市 民 参 加 の 状 況	本会議傍聴者数 H28 202人、H29 197人 議会報告会参加者数 H28 154人、H29 169人				担当部・課・係		議会事務局 議事調査課 議事調査係		TEL	45-1639		35			

会計名等	土地建物造成事業特別会計			設置目的	宅地造成・公共用地等の造成事業の円滑な事業実施を行う。																																																	
決 算	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">歳 入①</th> <th style="width: 20%;">平成30年度</th> <th style="width: 20%;">平成29年度</th> <th style="width: 20%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 事業収入(土地売払収入)</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>2 国庫支出金</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">675,000</td> <td style="text-align: right;">△ 675,000</td> </tr> <tr> <td>3 財産収入</td> <td style="text-align: right;">2,400</td> <td style="text-align: right;">192,423</td> <td style="text-align: right;">△ 190,023</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">2,400</td> <td style="text-align: right;">867,423</td> <td style="text-align: right;">△ 865,023</td> </tr> </tbody> </table>			歳 入①	平成30年度	平成29年度	増 減	1 事業収入(土地売払収入)	0	0	0	2 国庫支出金	0	675,000	△ 675,000	3 財産収入	2,400	192,423	△ 190,023	合 計	2,400	867,423	△ 865,023	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">歳 出②</th> <th style="width: 20%;">平成30年度</th> <th style="width: 20%;">平成29年度</th> <th style="width: 20%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 総務費</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>2 事業費</td> <td style="text-align: right;">2,208,660</td> <td style="text-align: right;">1,665,400</td> <td style="text-align: right;">543,260</td> </tr> <tr> <td>3 公債費</td> <td style="text-align: right;">37,111,775</td> <td style="text-align: right;">37,244,432</td> <td style="text-align: right;">△ 132,657</td> </tr> <tr> <td>4 予備費</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>5 繰上充用金</td> <td style="text-align: right;">119,250,828</td> <td style="text-align: right;">81,208,419</td> <td style="text-align: right;">38,042,409</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">158,571,263</td> <td style="text-align: right;">120,118,251</td> <td style="text-align: right;">38,453,012</td> </tr> </tbody> </table>			歳 出②	平成30年度	平成29年度	増 減	1 総務費	0	0	0	2 事業費	2,208,660	1,665,400	543,260	3 公債費	37,111,775	37,244,432	△ 132,657	4 予備費	0	0	0	5 繰上充用金	119,250,828	81,208,419	38,042,409	合 計	158,571,263	120,118,251	38,453,012
	歳 入①	平成30年度	平成29年度	増 減																																																		
	1 事業収入(土地売払収入)	0	0	0																																																		
	2 国庫支出金	0	675,000	△ 675,000																																																		
	3 財産収入	2,400	192,423	△ 190,023																																																		
	合 計	2,400	867,423	△ 865,023																																																		
	歳 出②	平成30年度	平成29年度	増 減																																																		
	1 総務費	0	0	0																																																		
	2 事業費	2,208,660	1,665,400	543,260																																																		
	3 公債費	37,111,775	37,244,432	△ 132,657																																																		
4 予備費	0	0	0																																																			
5 繰上充用金	119,250,828	81,208,419	38,042,409																																																			
合 計	158,571,263	120,118,251	38,453,012																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 20%;">平成30年度</th> <th style="width: 20%;">平成29年度</th> <th style="width: 20%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>翌年度に繰り越すべき財源③</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> </tbody> </table>				平成30年度	平成29年度	増 減	翌年度に繰り越すべき財源③	0	0	0																																												
	平成30年度	平成29年度	増 減																																																			
翌年度に繰り越すべき財源③	0	0	0																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 60%;">実質収支(①-②-③)</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">△ 158,568,863</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">△ 119,250,828</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">△ 39,318,035</td> </tr> </tbody> </table>			実質収支(①-②-③)	△ 158,568,863	△ 119,250,828	△ 39,318,035																																																
実質収支(①-②-③)	△ 158,568,863	△ 119,250,828	△ 39,318,035																																																			
決算概要	<p>○歳出見合いの収入(土地売払収入)が得られず、15,857万円の赤字決算となったことから、平成31年度歳入から平成30年度歳入に繰上充用を行った。</p>																																																					
備 考	<p>○つつじが丘団地残区画数：34区画（73区画中39区画売却済）※令和元年5月末現在</p>																																																					
担当部署	<p>企画財政部 企画課 定住・空家対策係</p>				TEL	45-1607	特1																																															

会計名等	国民健康保険事業特別会計				設置目的	国民健康保険事業の健全な運営を確保し、被保険者に必要な保険給付、保健事業を行う。				
決 算	歳 入①		平成30年度	平成29年度	増 減	歳 出②		平成30年度	平成29年度	増 減
	1 国民健康保険税		379,054,686	473,591,808	△ 94,537,122	1 総務費		36,810,673	58,013,463	△ 21,202,790
	2 使用料及び手数料		204,154	198,300	5,854	2 保険給付費		1,676,158,025	1,706,770,977	△ 30,612,952
	3 府支出金		1,699,776,000	139,208,675	1,560,567,325	3 国民健康保険事業費納付金		502,844,289		502,844,289
	4 財産収入		13,328	9,545	3,783	4 保健事業費		33,992,612	32,981,183	1,011,429
	5 繰入金		170,766,240	193,305,313	△ 22,539,073	5 基金積立金		40,013,328		40,013,328
	6 繰越金		68,685,540	50,033,753	18,651,787	6 公債費		0	13,851	△ 13,851
	7 諸収入		8,596,350	7,658,789	937,561	7 諸支出金		32,037,120	26,628,372	5,408,748
	8 国庫支出金		121,000	531,907,257	△ 531,786,257	8 予備費		0	0	0
	△ 療養給付費等交付金			63,029,969	△ 63,029,969	△ 後期高齢者支援金等			284,611,250	△ 284,611,250
	△ 前期高齢者交付金			850,384,168	△ 850,384,168	△ 前期高齢者納付金等			1,052,079	△ 1,052,079
	△ 共同事業交付金			539,184,638	△ 539,184,638	△ 老人保健拠出金			7,251	△ 7,251
						△ 介護納付金			105,702,984	△ 105,702,984
						△ 共同事業拠出金			564,045,265	△ 564,045,265
	合 計		2,327,217,298	2,848,512,215	△ 521,294,917	合 計		2,321,856,047	2,779,826,675	△ 457,970,628
		平成30年度	平成29年度	増 減						
形式収支③ (①-②)		5,361,251	68,685,540	△ 63,324,289						
単年度収支 (③-前年度③)		△ 63,324,289	18,651,787	△ 81,976,076						
決算概要	<p>平成30年度から国保制度の都道府県単位化に伴い、市は府へ国保事業費納付金を納め、保険給付に必要な財源を府から保険給付費等交付金として受ける方式となり、従来の国等公費財源は府の国保事業特別会計で歳入されるとともに、高額療養費に係る共同事業が廃止された。</p> <p>歳出は、1人当たり保険給付費が増加傾向(対前年度比+2.0%)にあるものの、被保険者の減(△3.4%)等により給付総額は減(△1.8%)となった。後期高齢者支援金等と介護納付金分も包含し新設された国保事業費納付金は5億284万円で、総額として457,971千円の減(△16.5%)となった。</p> <p>歳入は、標準保険税率に基づく税率設定(引き下げ)及び被保険者の減少等により保険税が減(△20.0%)となった。また、府支出金で保険給付費等交付金が新設され16億9,977万円となり、総額として対前年度比521,295千円の減(△18.3%)となった。</p> <p>この結果、単年度収支は、63,324千円の赤字となり、前々年度繰越金を含む形式収支は、5,361千円の黒字(対前年度比△92.2%)である。なお、国保事業基金は、30年度中に40,013千円の積立を行い、年度末残高は158,194千円である。</p>									
備 考	<p>・年度末被保険者数 4,808人(△3.4%) ・1人当たり保険給付費(一般被保険者)338,332円(+2.0%)</p>									
担当部署	市民部 税務・国保課 国保年金係							TEL	45-1616	特 2

会計名等	後期高齢者医療特別会計			設置目的	原則75歳以上の高齢者に対して、保険給付等、医療の適切な確保を図るため、京都府後期高齢者医療広域連合と本市が事務を分担しながら、後期高齢者医療制度の安定的な運営を図る。					
決算	歳入①		平成30年度	平成29年度	増減	歳出②		平成30年度	平成29年度	増減
	1 保険料		221,728,741	217,196,690	4,532,051	1 総務費		5,471,298	3,312,303	2,158,995
	2 使用料及び手数料		20,300	19,800	500	2 後期高齢者医療広域連合納付金		308,652,428	305,268,146	3,384,282
	3 国庫支出金		169,000		169,000	3 保健事業費		2,623,652	2,110,000	513,652
	4 繰入金		94,080,000	91,673,134	2,406,866	4 諸支出金		495,148	769,790	△ 274,642
	5 繰越金		5,996,722	6,041,078	△ 44,356	5 予備費		0	0	0
	6 諸収入		2,125,966	2,526,259	△ 400,293					
	合計		324,120,729	317,456,961	6,663,768	合計		317,242,526	311,460,239	5,782,287
			平成30年度	平成29年度	増減					
	形式収支③ (①-②)		6,878,203	5,996,722	881,481					
単年度収支 (③-前年度③)		881,481	△ 44,356	925,837						
決算概要	<p>歳出は、保険料収入の増に伴う京都府後期高齢者医療広域連合への保険料等負担金の増等により総額として対前年比5,782千円の増(+1.9%)となった。</p> <p>歳入は、被保険者数の微増(+0.2%)、保険料軽減制度の改正に伴う保険料収入の増等により総額として対前年比6,664千円の増(+2.1%)となった。</p> <p>この結果、単年度収支は、881千円の黒字となり、前々年度繰越金を含む形式収支は、6,878千円の黒字(対前年度比+14.7%)である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末被保険者数 4,195人 (対前年度比+0.2%) ・1人当たり医療費(費用額) 907,697円 (対前年度比+3.9%) 									
備考	保険料率は2年ごとに改定	保険料率	H28・H29	H30・H31	増減					
均等割率		48,220円	47,890円	-330円						
所得割率		9.61%	9.39%	-0.22%						
担当部署	市民部 税務・国保課 国保年金係						TEL	45-1616	特3	

会計名等	介護保険事業特別会計			設置目的	介護保険事業の運営を行う。																																																																																																							
決 算	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">歳 入①</th> <th style="width: 15%;">平成30年度</th> <th style="width: 15%;">平成29年度</th> <th style="width: 15%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 保険料</td> <td style="text-align: right;">589,215,080</td> <td style="text-align: right;">523,921,620</td> <td style="text-align: right;">65,293,460</td> </tr> <tr> <td>2 使用料及び手数料</td> <td style="text-align: right;">39,100</td> <td style="text-align: right;">38,830</td> <td style="text-align: right;">270</td> </tr> <tr> <td>3 国庫支出金</td> <td style="text-align: right;">736,453,541</td> <td style="text-align: right;">710,954,270</td> <td style="text-align: right;">25,499,271</td> </tr> <tr> <td>4 支払基金交付金</td> <td style="text-align: right;">703,590,536</td> <td style="text-align: right;">737,611,000</td> <td style="text-align: right;">△ 34,020,464</td> </tr> <tr> <td>5 府支出金</td> <td style="text-align: right;">421,180,990</td> <td style="text-align: right;">416,318,100</td> <td style="text-align: right;">4,862,890</td> </tr> <tr> <td>6 財産収入</td> <td style="text-align: right;">2,967</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,967</td> </tr> <tr> <td>7 繰入金</td> <td style="text-align: right;">423,794,773</td> <td style="text-align: right;">410,691,723</td> <td style="text-align: right;">13,103,050</td> </tr> <tr> <td>8 繰越金</td> <td style="text-align: right;">91,666,712</td> <td style="text-align: right;">98,143,282</td> <td style="text-align: right;">△ 6,476,570</td> </tr> <tr> <td>9 諸収入</td> <td style="text-align: right;">497,305</td> <td style="text-align: right;">284,070</td> <td style="text-align: right;">213,235</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">2,966,441,004</td> <td style="text-align: right;">2,897,962,895</td> <td style="text-align: right;">68,478,109</td> </tr> </tbody> </table>				歳 入①	平成30年度	平成29年度	増 減	1 保険料	589,215,080	523,921,620	65,293,460	2 使用料及び手数料	39,100	38,830	270	3 国庫支出金	736,453,541	710,954,270	25,499,271	4 支払基金交付金	703,590,536	737,611,000	△ 34,020,464	5 府支出金	421,180,990	416,318,100	4,862,890	6 財産収入	2,967		2,967	7 繰入金	423,794,773	410,691,723	13,103,050	8 繰越金	91,666,712	98,143,282	△ 6,476,570	9 諸収入	497,305	284,070	213,235	合 計	2,966,441,004	2,897,962,895	68,478,109	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">歳 出②</th> <th style="width: 15%;">平成30年度</th> <th style="width: 15%;">平成29年度</th> <th style="width: 15%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 総務費</td> <td style="text-align: right;">80,272,136</td> <td style="text-align: right;">70,070,955</td> <td style="text-align: right;">10,201,181</td> </tr> <tr> <td>2 保険給付費</td> <td style="text-align: right;">2,510,839,605</td> <td style="text-align: right;">2,551,143,277</td> <td style="text-align: right;">△ 40,303,672</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(項)介護サービス等諸費</td> <td style="text-align: right;">2,269,072,130</td> <td style="text-align: right;">2,256,506,228</td> <td style="text-align: right;">12,565,902</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(項)介護予防サービス等諸費</td> <td style="text-align: right;">65,338,244</td> <td style="text-align: right;">109,493,033</td> <td style="text-align: right;">△ 44,154,789</td> </tr> <tr> <td>3 地域支援事業費</td> <td style="text-align: right;">176,535,715</td> <td style="text-align: right;">115,400,307</td> <td style="text-align: right;">61,135,408</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(項)介護予防・生活支援サービス事業費</td> <td style="text-align: right;">112,533,575</td> <td style="text-align: right;">57,214,085</td> <td style="text-align: right;">55,319,490</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(項)一般介護予防事業費</td> <td style="text-align: right;">1,968,818</td> <td style="text-align: right;">1,110,541</td> <td style="text-align: right;">858,277</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(項)包括的支援事業・任意事業費</td> <td style="text-align: right;">61,766,082</td> <td style="text-align: right;">56,944,821</td> <td style="text-align: right;">4,821,261</td> </tr> <tr> <td>4 基金積立金</td> <td style="text-align: right;">72,002,967</td> <td style="text-align: right;">30,000,000</td> <td style="text-align: right;">42,002,967</td> </tr> <tr> <td>5 公債費</td> <td style="text-align: right;">9,041</td> <td style="text-align: right;">6,575</td> <td style="text-align: right;">2,466</td> </tr> <tr> <td>6 諸支出金</td> <td style="text-align: right;">55,025,235</td> <td style="text-align: right;">39,675,069</td> <td style="text-align: right;">15,350,166</td> </tr> <tr> <td>7 予備費</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">2,894,684,699</td> <td style="text-align: right;">2,806,296,183</td> <td style="text-align: right;">88,388,516</td> </tr> </tbody> </table>				歳 出②	平成30年度	平成29年度	増 減	1 総務費	80,272,136	70,070,955	10,201,181	2 保険給付費	2,510,839,605	2,551,143,277	△ 40,303,672	(項)介護サービス等諸費	2,269,072,130	2,256,506,228	12,565,902	(項)介護予防サービス等諸費	65,338,244	109,493,033	△ 44,154,789	3 地域支援事業費	176,535,715	115,400,307	61,135,408	(項)介護予防・生活支援サービス事業費	112,533,575	57,214,085	55,319,490	(項)一般介護予防事業費	1,968,818	1,110,541	858,277	(項)包括的支援事業・任意事業費	61,766,082	56,944,821	4,821,261	4 基金積立金	72,002,967	30,000,000	42,002,967	5 公債費	9,041	6,575	2,466	6 諸支出金	55,025,235	39,675,069	15,350,166	7 予備費	0	0	0	合 計	2,894,684,699	2,806,296,183	88,388,516
	歳 入①	平成30年度	平成29年度	増 減																																																																																																								
	1 保険料	589,215,080	523,921,620	65,293,460																																																																																																								
	2 使用料及び手数料	39,100	38,830	270																																																																																																								
	3 国庫支出金	736,453,541	710,954,270	25,499,271																																																																																																								
	4 支払基金交付金	703,590,536	737,611,000	△ 34,020,464																																																																																																								
	5 府支出金	421,180,990	416,318,100	4,862,890																																																																																																								
	6 財産収入	2,967		2,967																																																																																																								
	7 繰入金	423,794,773	410,691,723	13,103,050																																																																																																								
	8 繰越金	91,666,712	98,143,282	△ 6,476,570																																																																																																								
	9 諸収入	497,305	284,070	213,235																																																																																																								
	合 計	2,966,441,004	2,897,962,895	68,478,109																																																																																																								
歳 出②	平成30年度	平成29年度	増 減																																																																																																									
1 総務費	80,272,136	70,070,955	10,201,181																																																																																																									
2 保険給付費	2,510,839,605	2,551,143,277	△ 40,303,672																																																																																																									
(項)介護サービス等諸費	2,269,072,130	2,256,506,228	12,565,902																																																																																																									
(項)介護予防サービス等諸費	65,338,244	109,493,033	△ 44,154,789																																																																																																									
3 地域支援事業費	176,535,715	115,400,307	61,135,408																																																																																																									
(項)介護予防・生活支援サービス事業費	112,533,575	57,214,085	55,319,490																																																																																																									
(項)一般介護予防事業費	1,968,818	1,110,541	858,277																																																																																																									
(項)包括的支援事業・任意事業費	61,766,082	56,944,821	4,821,261																																																																																																									
4 基金積立金	72,002,967	30,000,000	42,002,967																																																																																																									
5 公債費	9,041	6,575	2,466																																																																																																									
6 諸支出金	55,025,235	39,675,069	15,350,166																																																																																																									
7 予備費	0	0	0																																																																																																									
合 計	2,894,684,699	2,806,296,183	88,388,516																																																																																																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 15%;">平成30年度</th> <th style="width: 15%;">平成29年度</th> <th style="width: 10%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>翌年度に繰り越すべき財源③</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>実質収支(①-②-③)</td> <td style="text-align: right;">71,756,305</td> <td style="text-align: right;">91,666,712</td> <td style="text-align: right;">△ 19,910,407</td> </tr> </tbody> </table>					平成30年度	平成29年度	増 減	翌年度に繰り越すべき財源③	0	0	0	実質収支(①-②-③)	71,756,305	91,666,712	△ 19,910,407																																																																																													
	平成30年度	平成29年度	増 減																																																																																																									
翌年度に繰り越すべき財源③	0	0	0																																																																																																									
実質収支(①-②-③)	71,756,305	91,666,712	△ 19,910,407																																																																																																									
決算概要	<p>【被保険者、要介護認定者等の状況】(平成31年3月末現在 介護保険事業報告数値)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1号被保険者数…7,320人、対前年同月比43人の減(高齢化率41.3%:前年度 40.8%) ・要介護認定者数(第1号)…1,877人、対前年同月比20人の増(認定率25.6%:前年度 25.2%) <p>【決算の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険給付費は施設の休止及び介護予防・日常生活支援総合事業の実施により減額となったが、この総合事業の実施等により地域支援事業費は増額。 ・介護保険事業の安定的な財政運営ができるよう基金の積み立てを行った。 <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月に特別養護老人ホーム1施設、9月に短期入所生活介護施設1施設が休止。 																																																																																																											
備 考																																																																																																												
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 介護給付係				TEL	45-1619	特 4																																																																																																					

会計名等	介護予防支援事業特別会計			設置目的	要支援1、2の認定を受けた者に対するケアプランの作成等を行う。																																											
決 算	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">歳 入①</th> <th style="width: 25%;">平成30年度</th> <th style="width: 25%;">平成29年度</th> <th style="width: 25%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 サービス収入</td> <td style="text-align: right;">8,400,900</td> <td style="text-align: right;">11,447,400</td> <td style="text-align: right;">△ 3,046,500</td> </tr> <tr> <td>2 繰越金</td> <td style="text-align: right;">10,147,411</td> <td style="text-align: right;">8,149,907</td> <td style="text-align: right;">1,997,504</td> </tr> <tr> <td>3 諸収入</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">18,548,311</td> <td style="text-align: right;">19,597,307</td> <td style="text-align: right;">△ 1,048,996</td> </tr> </tbody> </table>				歳 入①	平成30年度	平成29年度	増 減	1 サービス収入	8,400,900	11,447,400	△ 3,046,500	2 繰越金	10,147,411	8,149,907	1,997,504	3 諸収入	0	0	0	合 計	18,548,311	19,597,307	△ 1,048,996	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">歳 出②</th> <th style="width: 25%;">平成30年度</th> <th style="width: 25%;">平成29年度</th> <th style="width: 25%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 総務費</td> <td style="text-align: right;">5,692,109</td> <td style="text-align: right;">5,737,188</td> <td style="text-align: right;">△ 45,079</td> </tr> <tr> <td>2 事業費(介護予防支援事業費)</td> <td style="text-align: right;">1,809,370</td> <td style="text-align: right;">3,712,708</td> <td style="text-align: right;">△ 1,903,338</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">7,501,479</td> <td style="text-align: right;">9,449,896</td> <td style="text-align: right;">△ 1,948,417</td> </tr> </tbody> </table>				歳 出②	平成30年度	平成29年度	増 減	1 総務費	5,692,109	5,737,188	△ 45,079	2 事業費(介護予防支援事業費)	1,809,370	3,712,708	△ 1,903,338	3 予備費	0	0	0	合 計	7,501,479	9,449,896	△ 1,948,417
	歳 入①	平成30年度	平成29年度	増 減																																												
	1 サービス収入	8,400,900	11,447,400	△ 3,046,500																																												
	2 繰越金	10,147,411	8,149,907	1,997,504																																												
	3 諸収入	0	0	0																																												
	合 計	18,548,311	19,597,307	△ 1,048,996																																												
	歳 出②	平成30年度	平成29年度	増 減																																												
	1 総務費	5,692,109	5,737,188	△ 45,079																																												
	2 事業費(介護予防支援事業費)	1,809,370	3,712,708	△ 1,903,338																																												
	3 予備費	0	0	0																																												
合 計	7,501,479	9,449,896	△ 1,948,417																																													
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 20%;">平成30年度</th> <th style="width: 20%;">平成29年度</th> <th style="width: 20%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>翌年度に繰り越すべき財源③</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>実質収支(①-②-③)</td> <td style="text-align: right;">11,046,832</td> <td style="text-align: right;">10,147,411</td> <td style="text-align: right;">899,421</td> </tr> </tbody> </table>					平成30年度	平成29年度	増 減	翌年度に繰り越すべき財源③	0	0	0	実質収支(①-②-③)	11,046,832	10,147,411	899,421																																	
	平成30年度	平成29年度	増 減																																													
翌年度に繰り越すべき財源③	0	0	0																																													
実質収支(①-②-③)	11,046,832	10,147,411	899,421																																													
<p>〔ケアプラン作成・給付管理実績〕</p> <p>南部圏域(宮津市地域包括支援センター)平成31年2月現在169人(平成30年2月現在150人)</p> <p>※北部圏域(宮津北部地域包括支援センター)平成31年3月現在60人(平成30年3月現在42人)</p> <p>〔サービス計画数ほか〕</p> <p>南部圏域 延1,917件(H29:2,629件、H28:3,394件、H27:3,117件) 職員数 常勤4人+非常勤6人=10人</p> <p>※北部圏域 延618件(H29:811件、H28:1,004件、H27:919件) 職員数 常勤2人+非常勤1人=3人</p>																																																
<p>〔要支援認定者数〕平成31年3月末現在:678人(対前年比106.4%)内訳:南部圏域514人、北部圏域162人</p> <p>※宮津北部地域包括支援センターの運営費は、委託料として、介護保険事業特別会計から支出(11,925,584円)</p>																																																
備 考																																																
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 介護予防係				TEL	45-1620	特5																																									

会計名等	下水道事業特別会計			設置目的	公共用水域の水質の保全と生活環境の向上を図る。																																																																																													
決 算	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">歳 入①</th> <th style="width: 20%;">平成30年度</th> <th style="width: 20%;">平成29年度</th> <th style="width: 20%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 分担金及び負担金</td> <td style="text-align: right;">15,358,575</td> <td style="text-align: right;">13,583,860</td> <td style="text-align: right;">1,774,715</td> </tr> <tr> <td>2 使用料及び手数料</td> <td style="text-align: right;">276,182,099</td> <td style="text-align: right;">279,178,948</td> <td style="text-align: right;">△ 2,996,849</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">下水道使用料(現年分)</td> <td style="text-align: right;">273,102,119</td> <td style="text-align: right;">275,892,957</td> <td style="text-align: right;">△ 2,790,838</td> </tr> <tr> <td>3 国庫支出金</td> <td style="text-align: right;">153,645,000</td> <td style="text-align: right;">157,775,400</td> <td style="text-align: right;">△ 4,130,400</td> </tr> <tr> <td>4 繰入金</td> <td style="text-align: right;">542,175,116</td> <td style="text-align: right;">557,252,226</td> <td style="text-align: right;">△ 15,077,110</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">一般会計繰入金</td> <td style="text-align: right;">536,110,364</td> <td style="text-align: right;">551,359,004</td> <td style="text-align: right;">△ 15,248,640</td> </tr> <tr> <td>5 繰越金</td> <td style="text-align: right;">41,441</td> <td style="text-align: right;">38,960</td> <td style="text-align: right;">2,481</td> </tr> <tr> <td>6 諸収入</td> <td style="text-align: right;">221,388</td> <td style="text-align: right;">823,003</td> <td style="text-align: right;">△ 601,615</td> </tr> <tr> <td>7 市債</td> <td style="text-align: right;">629,000,000</td> <td style="text-align: right;">631,100,000</td> <td style="text-align: right;">△ 2,100,000</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建設地方債</td> <td style="text-align: right;">278,300,000</td> <td style="text-align: right;">326,700,000</td> <td style="text-align: right;">△ 48,400,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">1,616,623,619</td> <td style="text-align: right;">1,639,752,397</td> <td style="text-align: right;">△ 23,128,778</td> </tr> </tbody> </table>			歳 入①	平成30年度	平成29年度	増 減	1 分担金及び負担金	15,358,575	13,583,860	1,774,715	2 使用料及び手数料	276,182,099	279,178,948	△ 2,996,849	下水道使用料(現年分)	273,102,119	275,892,957	△ 2,790,838	3 国庫支出金	153,645,000	157,775,400	△ 4,130,400	4 繰入金	542,175,116	557,252,226	△ 15,077,110	一般会計繰入金	536,110,364	551,359,004	△ 15,248,640	5 繰越金	41,441	38,960	2,481	6 諸収入	221,388	823,003	△ 601,615	7 市債	629,000,000	631,100,000	△ 2,100,000	建設地方債	278,300,000	326,700,000	△ 48,400,000	合 計	1,616,623,619	1,639,752,397	△ 23,128,778	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">歳 出②</th> <th style="width: 20%;">平成30年度</th> <th style="width: 20%;">平成29年度</th> <th style="width: 20%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 総務費</td> <td style="text-align: right;">14,840,517</td> <td style="text-align: right;">11,650,914</td> <td style="text-align: right;">3,189,603</td> </tr> <tr> <td>2 事業費</td> <td style="text-align: right;">752,307,219</td> <td style="text-align: right;">781,345,578</td> <td style="text-align: right;">△ 29,038,359</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">宮津湾流域下水道維持管理負担金</td> <td style="text-align: right;">266,729,560</td> <td style="text-align: right;">252,224,890</td> <td style="text-align: right;">14,504,670</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">公共下水道施設整備事業</td> <td style="text-align: right;">378,574,734</td> <td style="text-align: right;">450,790,974</td> <td style="text-align: right;">△ 72,216,240</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">宮津湾流域下水道建設負担金</td> <td style="text-align: right;">54,558,000</td> <td style="text-align: right;">35,073,000</td> <td style="text-align: right;">19,485,000</td> </tr> <tr> <td>3 公債費</td> <td style="text-align: right;">849,460,883</td> <td style="text-align: right;">846,714,464</td> <td style="text-align: right;">2,746,419</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">市債償還元金</td> <td style="text-align: right;">698,241,205</td> <td style="text-align: right;">680,740,837</td> <td style="text-align: right;">17,500,368</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">市債利子</td> <td style="text-align: right;">105,206,632</td> <td style="text-align: right;">165,815,281</td> <td style="text-align: right;">△ 60,608,649</td> </tr> <tr> <td>4 予備費</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">1,616,608,619</td> <td style="text-align: right;">1,639,710,956</td> <td style="text-align: right;">△ 23,102,337</td> </tr> </tbody> </table>			歳 出②	平成30年度	平成29年度	増 減	1 総務費	14,840,517	11,650,914	3,189,603	2 事業費	752,307,219	781,345,578	△ 29,038,359	宮津湾流域下水道維持管理負担金	266,729,560	252,224,890	14,504,670	公共下水道施設整備事業	378,574,734	450,790,974	△ 72,216,240	宮津湾流域下水道建設負担金	54,558,000	35,073,000	19,485,000	3 公債費	849,460,883	846,714,464	2,746,419	市債償還元金	698,241,205	680,740,837	17,500,368	市債利子	105,206,632	165,815,281	△ 60,608,649	4 予備費	0	0	0	合 計	1,616,608,619	1,639,710,956	△ 23,102,337
	歳 入①	平成30年度	平成29年度	増 減																																																																																														
	1 分担金及び負担金	15,358,575	13,583,860	1,774,715																																																																																														
	2 使用料及び手数料	276,182,099	279,178,948	△ 2,996,849																																																																																														
	下水道使用料(現年分)	273,102,119	275,892,957	△ 2,790,838																																																																																														
	3 国庫支出金	153,645,000	157,775,400	△ 4,130,400																																																																																														
	4 繰入金	542,175,116	557,252,226	△ 15,077,110																																																																																														
	一般会計繰入金	536,110,364	551,359,004	△ 15,248,640																																																																																														
	5 繰越金	41,441	38,960	2,481																																																																																														
	6 諸収入	221,388	823,003	△ 601,615																																																																																														
	7 市債	629,000,000	631,100,000	△ 2,100,000																																																																																														
建設地方債	278,300,000	326,700,000	△ 48,400,000																																																																																															
合 計	1,616,623,619	1,639,752,397	△ 23,128,778																																																																																															
歳 出②	平成30年度	平成29年度	増 減																																																																																															
1 総務費	14,840,517	11,650,914	3,189,603																																																																																															
2 事業費	752,307,219	781,345,578	△ 29,038,359																																																																																															
宮津湾流域下水道維持管理負担金	266,729,560	252,224,890	14,504,670																																																																																															
公共下水道施設整備事業	378,574,734	450,790,974	△ 72,216,240																																																																																															
宮津湾流域下水道建設負担金	54,558,000	35,073,000	19,485,000																																																																																															
3 公債費	849,460,883	846,714,464	2,746,419																																																																																															
市債償還元金	698,241,205	680,740,837	17,500,368																																																																																															
市債利子	105,206,632	165,815,281	△ 60,608,649																																																																																															
4 予備費	0	0	0																																																																																															
合 計	1,616,608,619	1,639,710,956	△ 23,102,337																																																																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%;">平成30年度</th> <th style="width: 20%;">平成29年度</th> <th style="width: 20%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>翌年度に繰り越すべき財源③</td> <td style="text-align: right;">15,000</td> <td style="text-align: right;">41,441</td> <td style="text-align: right;">△ 26,441</td> </tr> <tr> <td>実質収支(①-②-③)</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> </tbody> </table>				平成30年度	平成29年度	増 減	翌年度に繰り越すべき財源③	15,000	41,441	△ 26,441	実質収支(①-②-③)	0	0	0																																																																																				
	平成30年度	平成29年度	増 減																																																																																															
翌年度に繰り越すべき財源③	15,000	41,441	△ 26,441																																																																																															
実質収支(①-②-③)	0	0	0																																																																																															
決算概要	<p>【決算の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 流域下水道維持管理負担金及び建設負担金等は増となったものの、施設整備事業の減により、歳出総額は減少した。 歳入総額については、施設整備事業の減に伴う国庫補助金及び市債の減等により、減少した。 一般会計繰入金については、下水道使用料が減、流域下水道維持管理負担金及び市債償還元金が増となったものの、資本費平準化債の増により、前年度に比べ約15,250千円減となる536,110千円となった。 <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度末での施設概成に向けて整備を進めてきたが、7月豪雨災害への対応により工事に遅れが生じ、事業の一部を繰り越すこととなった。平成30年度は15.1haの整備を行い、平成30年度末の面積整備率は91.5%（対前年度比+3.0ポイント）、人口普及率は69.5%（対前年度比+0.9ポイント）となった。 平成30年度末の市債残高は9,583,557千円（対前年度比△69,241千円） 																																																																																																	
備 考																																																																																																		
担当部署	建設部 上下水道課 管理係				TEL	45-1633	特 6																																																																																											

会計名等	休日応急診療所事業特別会計				設置目的	休日応急診療所事業の運営を行う。																																																																										
決 算	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">歳 入①</th> <th style="width: 15%;">平成30年度</th> <th style="width: 15%;">平成29年度</th> <th style="width: 15%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 診療収入</td> <td style="text-align: right;">8,920,105</td> <td style="text-align: right;">11,393,338</td> <td style="text-align: right;">△ 2,473,233</td> </tr> <tr> <td>2 使用料及び手数料(証明手数料)</td> <td style="text-align: right;">3,600</td> <td style="text-align: right;">7,200</td> <td style="text-align: right;">△ 3,600</td> </tr> <tr> <td>3 繰入金</td> <td style="text-align: right;">4,078,000</td> <td style="text-align: right;">3,482,000</td> <td style="text-align: right;">596,000</td> </tr> <tr> <td>4 繰越金</td> <td style="text-align: right;">1,795,968</td> <td style="text-align: right;">2,355,206</td> <td style="text-align: right;">△ 559,238</td> </tr> <tr> <td>5 諸収入(2町分担金)</td> <td style="text-align: right;">5,824,000</td> <td style="text-align: right;">5,018,000</td> <td style="text-align: right;">806,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">20,621,673</td> <td style="text-align: right;">22,255,744</td> <td style="text-align: right;">△ 1,634,071</td> </tr> </tbody> </table>				歳 入①	平成30年度	平成29年度	増 減	1 診療収入	8,920,105	11,393,338	△ 2,473,233	2 使用料及び手数料(証明手数料)	3,600	7,200	△ 3,600	3 繰入金	4,078,000	3,482,000	596,000	4 繰越金	1,795,968	2,355,206	△ 559,238	5 諸収入(2町分担金)	5,824,000	5,018,000	806,000	合 計	20,621,673	22,255,744	△ 1,634,071	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">歳 出②</th> <th style="width: 15%;">平成30年度</th> <th style="width: 15%;">平成29年度</th> <th style="width: 15%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 休日応急診療所費</td> <td style="text-align: right;">17,697,142</td> <td style="text-align: right;">17,922,554</td> <td style="text-align: right;">△ 225,412</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">管理医師報酬等</td> <td style="text-align: right;">1,477,300</td> <td style="text-align: right;">1,532,227</td> <td style="text-align: right;">△ 54,927</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">休日応急診療所管理運営事業</td> <td style="text-align: right;">992,166</td> <td style="text-align: right;">1,049,850</td> <td style="text-align: right;">△ 57,684</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">出務医師報酬</td> <td style="text-align: right;">7,068,750</td> <td style="text-align: right;">7,027,500</td> <td style="text-align: right;">41,250</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">休日応急診療所診療事業</td> <td style="text-align: right;">8,158,926</td> <td style="text-align: right;">8,312,977</td> <td style="text-align: right;">△ 154,051</td> </tr> <tr> <td>2 公債費</td> <td style="text-align: right;">2,537,222</td> <td style="text-align: right;">2,537,222</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">市債償還元金</td> <td style="text-align: right;">1,953,886</td> <td style="text-align: right;">1,889,110</td> <td style="text-align: right;">64,776</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">市債利子</td> <td style="text-align: right;">583,336</td> <td style="text-align: right;">648,112</td> <td style="text-align: right;">△ 64,776</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">20,234,364</td> <td style="text-align: right;">20,459,776</td> <td style="text-align: right;">△ 225,412</td> </tr> </tbody> </table>				歳 出②	平成30年度	平成29年度	増 減	1 休日応急診療所費	17,697,142	17,922,554	△ 225,412	管理医師報酬等	1,477,300	1,532,227	△ 54,927	休日応急診療所管理運営事業	992,166	1,049,850	△ 57,684	出務医師報酬	7,068,750	7,027,500	41,250	休日応急診療所診療事業	8,158,926	8,312,977	△ 154,051	2 公債費	2,537,222	2,537,222	0	市債償還元金	1,953,886	1,889,110	64,776	市債利子	583,336	648,112	△ 64,776	3 予備費	0	0	0	合 計	20,234,364	20,459,776	△ 225,412
	歳 入①	平成30年度	平成29年度	増 減																																																																												
	1 診療収入	8,920,105	11,393,338	△ 2,473,233																																																																												
	2 使用料及び手数料(証明手数料)	3,600	7,200	△ 3,600																																																																												
	3 繰入金	4,078,000	3,482,000	596,000																																																																												
	4 繰越金	1,795,968	2,355,206	△ 559,238																																																																												
	5 諸収入(2町分担金)	5,824,000	5,018,000	806,000																																																																												
	合 計	20,621,673	22,255,744	△ 1,634,071																																																																												
	歳 出②	平成30年度	平成29年度	増 減																																																																												
	1 休日応急診療所費	17,697,142	17,922,554	△ 225,412																																																																												
管理医師報酬等	1,477,300	1,532,227	△ 54,927																																																																													
休日応急診療所管理運営事業	992,166	1,049,850	△ 57,684																																																																													
出務医師報酬	7,068,750	7,027,500	41,250																																																																													
休日応急診療所診療事業	8,158,926	8,312,977	△ 154,051																																																																													
2 公債費	2,537,222	2,537,222	0																																																																													
市債償還元金	1,953,886	1,889,110	64,776																																																																													
市債利子	583,336	648,112	△ 64,776																																																																													
3 予備費	0	0	0																																																																													
合 計	20,234,364	20,459,776	△ 225,412																																																																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">平成30年度</th> <th style="width: 15%;">平成29年度</th> <th style="width: 15%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>翌年度に繰り越すべき財源③</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>					平成30年度	平成29年度	増 減	翌年度に繰り越すべき財源③	0	0	0																																																																					
	平成30年度	平成29年度	増 減																																																																													
翌年度に繰り越すべき財源③	0	0	0																																																																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">実質収支(①-②-③)</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">387,309</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">1,795,968</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">△ 1,408,659</td> </tr> </tbody> </table>				実質収支(①-②-③)	387,309	1,795,968	△ 1,408,659																																																																									
実質収支(①-②-③)	387,309	1,795,968	△ 1,408,659																																																																													
決算概要	<p>【決算の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○診療体制 診療科目…内科・小児科 医 師…一般社団法人与謝医師会に委託 看 護 師…臨時職員、医事事務…民間事業者委託 ○H30年度の診療日数 72日 (H29年度71日) ○H30年度の患者数 980人 (H29年度 1,236人) ※前年比256人減(年間を通じて感染症の流行が少なかったこと、インフルエンザ患者の減によるもの) <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○休日応急診療所事業費分担金内訳 宮津市 建設費分 950,000円 + 運営費分 3,128,000円 = 4,078,000円 伊根町 建設費分 203,000円 + 運営費分 575,000円 = 778,000円 与謝野町 建設費分 1,385,000円 + 運営費分 3,661,000円 = 5,046,000円 ○休日応急診療所整備に係る起債・償還の状況 借入額 42,500,000円(平成8年5月)、利率 3.4%、償還期間2025年度(令和7年度)まで30ヶ年 																																																																															
備 考	<p>休日における医療(内科及び小児科)を必要とする住民等に対して、適切な医療の提供が図られた。</p>																																																																															
担当部署	<p>健康福祉部 健康・介護課 健康増進係</p>				TEL	45-1624	特7																																																																									

会計名等	財産区特別会計		設置目的	各財産区の円滑な運営を図る。							
決算	項目		上宮津財産区	由良財産区	栗田財産区	吉津財産区	世屋財産区	養老財産区	日ヶ谷財産区	合計	
	歳入	H30決算額	11,545,209	453,694	879,460	2,693,027	148,928	585,115	253,400	16,558,833	
		H29決算額	9,179,895	886,644	1,275,646	3,526,869	190,725	613,077	327,390	16,000,246	
		増減額	2,365,314	△ 432,950	△ 396,186	△ 833,842	△ 41,797	△ 27,962	△ 73,990	558,587	
	歳出	H30決算額	3,717,946	23,072	119,787	136,657	76,993	181,527	24,101	4,280,083	
		H29決算額	3,013,477	523,023	850,291	1,441,301	126,993	169,978	124,091	6,249,154	
		増減額	704,469	△ 499,951	△ 730,504	△ 1,304,644	△ 50,000	11,549	△ 99,990	△ 1,969,071	
	<p>○増減の主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上宮津財産区：〔歳入〕財産貸付に伴う増 〔歳出〕繰越して実施した分収造林事業（杉山）に伴う増 ・由良、栗田、吉津、日ヶ谷財産区：基金積立の実施がなかったこと（H29年度基金積立の実施）に伴う減 										
	決算概要	<p>○上宮津財産区において国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター（旧：緑資源機構）との分収造林事業(除伐)を実施し、森林資源の保全、水源かん養及び土砂流出の防備等に努めた。</p> <p>○適正な財産区の管理運営及び適切な森林管理が図れた。</p>									
	備考										
担当部署	産業経済部 農林水産課 産業基盤係						TEL	45-1627	特8		

会計名等	水道事業会計		設置目的	安心・安全な水を供給する。			
決 算	項 目		平成30年度	平成29年度		増減	
				水道事業	簡易水道事業		
	収益的収支 (税抜)	収入①		543,313,810	349,524,714	134,800,136	58,988,960
		主な内訳	給水収益	402,833,683	301,560,063	98,247,433	3,026,187
			長期前受金戻入	109,762,350	37,859,454	—	71,902,896
			他会計補助金(一般会計繰入金)	22,479,000	0	18,932,579	3,546,421
		支出②		550,573,781	330,555,091	100,049,546	119,969,144
		主な内訳	原水及び浄水費	118,571,658	68,327,189	42,736,781	7,507,688
			減価償却費	268,663,031	147,070,875	—	121,592,156
			支払利息及び企業債取扱諸費	60,051,198	37,129,833	26,118,837	△ 3,197,472
純損益(①-②)		△ 7,259,971	18,969,623	34,750,590	△ 60,980,184		
資本的収支 (税込)		収入③		104,489,680	102,542,240	296,036,955	△ 294,089,515
	主な内訳	企業債	47,300,000	99,500,000	181,500,000	△ 233,700,000	
		他会計補助金(一般会計繰入金)	41,494,000	0	37,019,115	4,474,885	
	支出④		273,550,068	231,905,357	334,989,254	△ 293,344,543	
	主な内訳	拡張改良費	57,201,898	82,828,992	175,329,360	△ 200,956,454	
		浄水場整備費	8,659,440	38,985,840	80,330,400	△ 110,656,800	
		元金償還金	182,882,680	91,196,056	71,535,230	20,151,394	
収支不足額(③-④)		△ 169,060,388	△ 129,363,117	△ 38,952,299	△ 744,972		
※平成29年度簡易水道事業の決算は、水道事業会計の項目に置き換えて記載している。また、その額は平成30年3月31日(打ち切り決算)時点の額である。							
決算概要	<p>【決算の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易水道事業との経営統合の初年度となる決算 <p><収益的収支></p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入においては、経営統合により簡易水道事業分の長期前受金戻入が純増となったものの、支出において、同じく減価償却費が純増となったことから、損益計算では、7,260千円の純損失の計上となった。 <p><資本的収支></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月豪雨により被害を受けた施設の災害復旧を優先したことから、予定していた整備事業の多くを次年度に繰り越すこととなったため、収入、支出ともに前年度を大きく下回る事となった。 <p>【特記事項】</p> <p>平成30年度末起債残高：4,053,874千円(前年度比 △135,583千円) ※簡易水道事業分を含む</p>						
備考	<p>・収支不足額169,060,388円については、減債積立金30,000,000円、建設改良積立金10,000,000円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,386,966円及び損益勘定留保資金124,673,422円で補てんした。</p>						
担当部署	建設部 上下水道課 管理係			TEL	45-1633	特9	